

第8回シェアカン（指導医と研修医とが臨床経験を共有（”シェア”）し、1つの症例から最大限学ぶ方法を考えるカンファレンス）の内容をシェア致します。

今回は、呼吸器内科 吉田 匠生 先生より、専門領域について現在進行中の症例を紹介頂きました。

詳細は書けませんが、ステロイド投与中のサイトメガロウイルス抗原血症、血痰に対する喀痰抗酸菌検査・細胞診の2例について。

前者については、

- ・ 参加者より、そもそもサイトメガロウイルス抗原とはどのような検査なのか？
- ・ 結果の解釈と治療介入のタイミングなどについて、呼吸器内科、腎移植も診てきた腎臓・リウマチ内科としての経験をそれぞれコメントしました。

後者については、

- ・ 提示症例の胸部CTを供覧
- ・ 結核疑い例に対する隔離、喀痰抗酸菌検査の望ましい対応方針について（塗抹/培養3回、PCRは初回のみ1回。2日目以降の検査で塗抹陽性ならPCRを追加する。）
- ・ 呼吸器内科医からみた喀痰細胞診の意義について

（細胞診でgroup 5と判明した後も、可能なら気管支鏡で組織採取すべき。細胞診と組織診の結果が異なる場合もあること、遺伝子検査を行うため一定のvolumeを有する組織採取が望ましいことなどが理由。）

指導医/専門医も専門領域の診療で悩む場面がある、ということを研修医の先生方と共有した会でした。

”シェア”する内容は広げていきたいと考えており、冒頭には司会者より『佐藤優の挑戦状 地頭を鍛える60題（講談社現代新書）』という新刊から論理的思考を試される問題を1問コピーして配布しました。5分ほど、皆さんに考えて頂きましたが瞬時に解答を出す方はいらっしゃいませんでした。

https://honto.jp/netstore/pd-book_29771075.html

今回のように読んだ本を紹介するほか、過去の学会発表や講演、重要な論文の紹介、学会/研究会の参加報告なども本カンファレンスの題材候補と考えております。

指導医がどのように勉強してきたか、また現在どのように勉強しているか、をありのままに紹介することは有用だろうと思われま。

”魚の釣り方を教える”という考え方は、『Dr. イワケンのねころんで読める研修医指導 すべての指導者のためのイワケン流医学教育入門書』でも記載されていました。

https://honto.jp/netstore/pd-book_29833879.html

主に指導医から研修医へ、広く経験知をシェアする機会にできればと思います。

30分と短い時間に設定しており、研修医とインタラクティブに成り難い点が課題ですが（非専門領域の勉強が楽しくて、指導医ばかりが質問してしまう傾向）、医学的知識に留まらない”何か”を吸収してもらえれば幸いです。

3ヶ月ほど続けてきましたので、研修医の先生方にはこれまでの感想と今後希望する内容について自由記載してもらおうと考えています。

文責：内科・リウマチ科（研修担当） 鈴木 康倫